

カメの見分け方

外来種

Alien species

認定 NPO 法人
生態工房



積水ハウスマッチングプログラムの会の
支援により製作しました。

ミシシippアカミミガメ (ミドリガメ) 緊急対策外来種

平野部の池、濠、流れのゆるやかな川や水路で普通に見られる。
春から秋に、岸や倒木などでよく甲羅干しをする。
水面に浮かんでいるのがよく見られる。甲羅は最大で28cm。

赤い紋

首・足に黄色いしま

黄色や黒のしま

尾は短い

子ガメ

緑色

赤い紋

赤い紋が消える

歳をとったオス
全体的に黒っぽくなる

前足の爪が長い

黒と黄土色

写真提供：小林頼太

腹側

黄色地に黒い紋

模様には個体差がある
オスは歳をとっても腹側は黄色い

クサガメ

池、水田、ゆるやかな川や水路で普通に見られる。
捕まると独特のにおいを出す。甲羅は25cm。

目は黄色と黒

3本の盛り上がり

黄色い破線

褐色から黒色

尾はやや短い

子ガメ

3本の盛り上がり

歳をとったオス
目もからだも黒くなる。

腹側

継ぎ目に白い線

※歳をとったオスはまっ黒

カミツキガメ 特定外来生物 緊急対策外来種

平野部の池や川で見つかることがある。複数が見つかることは稀。
夜行性で、通常は水中にいる。甲羅は最大で49cm。

黒褐色で模様がない

ギザギザ

頭は三角形

腹の甲羅は十字型

白っぽくて肉厚

長い尾には突起がある

子ガメ

尾が長い

ギザギザ